

安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 02. 11. 2017

製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

1. 製品及び会社情報

Honor WDG オナーWDG

用途: 農薬製品, 殺菌剤

会社名:

BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL 日本橋ビル 3階
電話番号: +81-3-5290-3000
FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】:

急性毒性: 区分 4 (経口)
水生環境有害性(急性): 区分 1
水生環境有害性(長期間): 区分 1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 02. 11. 2017
 製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019



注意喚起語:
 警告

危険有害性情報:

H302 飲み込むと有害。
 H411 長期的影響により水生生物に毒性。

注意書き（安全対策）:

P273 環境への放出を避けること。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P264 取扱後は、多量の水と石鹼でよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 P391 漏出物を回収すること。
 P330 口をすすぐこと。
 P301 飲み込んだ場合:

注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

他の危険有害性:

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

単一製品・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 殺菌剤, 顆粒水和剤

危険有害成分

2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド（別名：ボスカリド）

含有量 (W/W): 13.6 %

水生環境有害性(急性): 区分 2

CAS番号: 188425-85-6

水生環境有害性(長期間): 区分 2

ピラクロストロビン

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 02. 11. 2017

製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

含有量 (W/W): 6.8 %
CAS番号: 175013-18-0
労働安全衛生法: 8-(2)-2073

急性毒性: 区分 3 (吸入-ミスト)
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
水生環境有害性 (急性): 区分 1
水生環境有害性 (長期間): 区分 1
M-ファクター急性: 100
M-ファクター慢性: 10

ナトリウム=ジイソブチルナフタレンスルホナート

含有量 (W/W): < 5 %
CAS番号: 27213-90-7
化審法番号: (4)-473

急性毒性: 区分 5 (経口)
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分 1
特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
水生環境有害性 (急性): 区分 3
水生環境有害性 (長期間): 区分 3

硫酸ナトリウム

含有量 (W/W): < 10 %
CAS番号: 7757-82-6
化審法番号: (1)-501
労働安全衛生法: (1)-501

硫酸アンモニウム

含有量 (W/W): < 15 %
CAS番号: 7783-20-2
化審法番号: (1)-400
労働安全衛生法: (1)-400

急性毒性: 区分 5 (経口)
水生環境有害性 (急性): 区分 3

非晶質シリカ

含有量 (W/W): <= 7 %
CAS番号: 112926-00-8
化審法番号: (1)-548
労働安全衛生法: (1)-548

4. 応急措置

[一般的なアドバイス]:
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:
安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者 of 診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 最も重要な症状や影響はラベル (第2章を参照) や第11章に記載されている。、その他の重要な症状や影響は今のところ知られていない。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 泡, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:

二酸化炭素

[特有の危険有害性]:

一酸化炭素, 塩化水素, アンモニア, 二酸化炭素, 窒素酸化物, 硫黄酸化物, 有機ハロゲン化合物
火災の場合、前述の物質 / 物質グループが放出される可能性がある。

[消火を行う者の保護具]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:

火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項]:

保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。粉塵を発生させない。

[環境に対する注意事項]:

土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 02. 11. 2017
製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。

粉塵を発生させないこと。法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。使用時には飲食または喫煙をしないこと。作業後に手洗い、洗眼をする。

安全取扱注意事項:

粉塵を発生させない。粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 湿気を避ける。熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性:

保管期間: 60 月

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

職業暴露限度は、不明である。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

高濃度に対して、または長時間有効な適切な呼吸保護具: 固体微粒子および液体微粒子に対し、中程度の有効性を示す粒子フィルタ。EN 143、149P2型もしくはFFP2参照のこと)

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN 374) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN 374によると、透過時間は480分以上であること): ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:

サイドシールド (フレームゴーグル) (EN 166準拠) 付き安全眼鏡

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	自由流動性微細粒子
色:	褐色
臭い:	特異臭, わずかに臭う
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH:	約 4 - 6 (1 % (m), 22 ° C) (懸濁液として)
融点範囲:	約 63.7 - 65.2 ° C 与えられたデータは、活性成分の値である。
沸点範囲:	適用せず
引火点:	適用せず
蒸発率:	適用せず
燃焼性 (固体/ガス):	構造もしくは組成に基づくと、引火性の兆候はない。
爆発範囲の下限:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
爆発範囲の上限:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 02. 11. 2017
 製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

熱分解:	通常の取扱い条件下で危険分解物なし。	
自己発火性:	温度: 246 ° C	(測定方法: EU指令 92/69/EEC, A. 16)
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	(EU指令 92/69/EEC, A. 14)
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	(EU指令 92/69/EEC, A. 17)
蒸気圧:	本品については試験していない。	
嵩密度:	約 730 kg/m ³ (22 ° C)	
相対蒸気密度 (空気):	適用せず	
水に対する溶解性:	分散可能	
記載物質に関する情報:	2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ボスカリド)	
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	2. 96 (21 ° C)	(OECDテストガイドライン117)
記載物質に関する情報:	ピラクロストロビン	
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	約 3. 99 (22 ° C)	(OECDテストガイドライン117)

粘度:	固体のため、未測定	

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:

強酸, 強塩基, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:

単回摂取後、中程度の毒性を示す。吸入による毒性は実質上なし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 500 - < 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン423)

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 5.6 mg/l 4 h

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

死亡なし

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ウサギ: (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ウサギ: (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:

改定Buehler試験 モルモット: 感作性なし (OECDテストガイドライン406)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

発がん性の評価:

ラットを用いた長期の実験において、この物質は甲状腺腫瘍を誘発した。この結果は、人に対応しない動物特有のメカニズムによるものである。この物質を餌によって与えたマウスの長期の試験において、発癌性は、観察されなかった。

生殖毒性**生殖毒性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性**催奇形性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性、単回ばく露:**単回暴露評価:**

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

反復投与毒性と特定標的臓器毒性、反復ばく露**反復投与毒性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

反復投与毒性の評価:

動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。

吸引性呼吸器有害性

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報**環境毒性**

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 02. 11. 2017

製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

水生生物に対する毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。水生生物に猛毒である。水生環境に長期の悪影響を及ぼす恐れがある。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 約 2.7 mg/l, ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*)

記載物質に関する情報: ピラクロストロビン

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 0.00616 mg/l, ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*) (EPA 72-1, 洗い流す。)

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 5.33 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-1)

記載物質に関する情報: ピラクロストロビン

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 0.0157 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

水生植物:

EC50 (96 h) 2.61 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapit*) (OECDテストガイドライン 201)EC10 (10%影響濃度) (72 h) 1.19 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapit*) (OECDテストガイドライン 201)

記載物質に関する情報: ピラクロストロビン

水生植物:

EC50 (96 h) > 0.843 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapit*) (OECDテストガイドライン 201)

記載物質に関する情報: ピラクロストロビン

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度 (21 日), 0.004 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-2, 半止水式)

毒性作用の詳細は、名目濃度に関連性あり。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 02. 11. 2017
製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

無影響濃度 (28 日), 0.00128 mg/l, ミシッドシュリンプ (学名: *Mysidopsis bah* (OPP 72-4 (EPA-ガイドライン)), 洗い流す。)
毒性に関する記述は、実測濃度による。

移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

環境区分間の輸送評価:

土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

記載物質に関する情報: ピラクロストロビン

環境区分間の輸送評価:

土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

容易に生分解性されない (OECD基準による)

記載物質に関する情報: ピラクロストロビン

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド (別名: ポスカリド)

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 57 - 70 (28 日), ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*)

生物体内に蓄積しない。

記載物質に関する情報: ピラクロストロビン

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 379 - 507, ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*) (OECD-Guideline 305)

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 02. 11. 2017
 製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

生体蓄積性はないと考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
 前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:
 使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意**国際陸上輸送:**

危険クラス: 9
 容器等級: III
 国連番号: UN 3077
 危険物ラベル: 9, EHSM
 正式輸送品目名: 環境有害性物質(固体) (他に品名が明示されているものを除く。)
 (内容物 ボスカリド, ピラクロストロビン)

海上輸送

IMDG
 危険クラス: 9
 容器等級: III
 国連番号: UN 3077
 危険物ラベル: 9, EHSM
 海洋汚染物質: 該当
 正式輸送品目名:
 環境有害性物質(固体) (他に品名が明示されて
 いるものを除く。)(内容物 ボスカリド, ピラ
 クロストロビン)

Sea transport

IMDG
 Hazard class: 9
 Packing group: III
 ID number: UN 3077
 Hazard label: 9, EHSM
 Marine pollutant: YES
 Proper shipping name:
 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS
 SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains
 BOSCALID, PYRACLOSTROBIN)

航空輸送

IATA/ICAO
 危険クラス: 9
 容器等級: III
 国連番号: UN 3077
 危険物ラベル: 9, EHSM

Air transport

IATA/ICAO
 Hazard class: 9
 Packing group: III
 ID number: UN 3077
 Hazard label: 9, EHSM

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 02. 11. 2017
製品: Honor WDG / オナーWDG

バージョン: 3.1

(30675441/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

正式輸送品目名:
環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されて
いるものを除く。)(内容物 ボスカリド, ピラ
クロストロビン)

Proper shipping name:
ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS
SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains
BOSCALID, PYRACLOSTROBIN)

15. 適用法令

消防法: 非危険物

表示すべき危険有害性決定要素: ボスカリド, ピラクロストロビン

その他の規則

この農薬を使用する場合、ヒトおよび環境への危険を避けるために、使用説明書に従うこと。
(1999/45/EC、第10条、1.2項。)

16. その他の情報

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性(製品規格)を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。